



移住や農業について笑顔で語る松本さん

ける爽やかな風も心地よく、田尻での暮らしをとて気に入っているそうです。

現在は、自宅隣の約1500坪の畑に、ゆで落花生をはじめ、キャベツや里芋など一年を通じて約30種類の野菜を栽培し販売しています。

ゆで落花生は、神奈川県在住時にも自宅の菜園で栽培して、とてもおいしく出来ていたの、田尻地域に移住後は栽培面積を増やし、粒が大きく甘みがあり柔らかくておいしいと評判の「おまさり」という品種を主に栽培しています。

農業を始めるにあたり、宮城県農業大学のニュー



食品農産物の加工を行うため、8機種8台の機器を導入して作った加工室

ファーマーズ・カレッジ研修(NFC)を2年間受講し、野菜栽培の知識と技術を学びました。NFCの会員たちは定期的に交流があり、イベントにも一緒に出店し野菜の直販を行っています。

現在は妻の香代さんと二人三脚で野菜を栽培していますが、野菜の収穫が大変で、時には畑の草取りに手が回らないこともあるそうです。珍しい西洋野菜を栽培してみたら予想より食味が良くなかったり、神奈川県在住時に育てていた野菜が田尻地域では十分に生育しなかったりと苦労は多いようですが、「苦労した分、収穫した時はとても嬉しい」



ゆで落花生以外にも里芋や鷹の爪など数多くの野菜を栽培している

と笑顔で話してくれました。平成26年に市の認定農業者となり、食品農産物の加工に関する支援事業を活用して、加工機器を導入しました。採れた野菜をそのまま販売するだけでなく、煮物の真空パック詰めなど付加価値を付けて販売できるように、農産物の加工技術の習得にも意欲的に取り組んでいます。

特にゆで落花生は掘った後2日以内に茹でて加工しないと、さやの色が黒く変色するなど扱いがとても難しいそうで、松本さんも掘つ



ゆでたものを真空パック詰めにして販売している「ゆで落花生」

たその日のうちにゆでて真空パック詰めの作業をしています。

「自分でおいしいと思った野菜を栽培して生活していきたい」と語る松本さん。現在は主にスーパーマーケットやイベントでの直売など、お客さんの顔が見える販売をしているからこそ、食味を追求し、よりおいしい野菜を栽培していきたいと語ります。

本格的に農業を始めて3年。松本さんの新しいチャレンジが新天地田尻地域から発信されていきます。



人、物、技、場所などを選び出して紹介するコーナー「ぴかいち」

松本 光男さん (田尻地域)



おいしい「ゆで落花生」を皆さんの食卓へ

落花生といえば、殻つきのまま煎って固い実を味わう食べ方が一般的ですが、ゆでて食べる「ゆで落花生」を知っていますか。

落花生の生産地として有名な千葉県では、ゆでて食べるという食べ方は以前から行われていたようですが、ゆで落花生という商品は最近になって普及した、新しい分野です。

県内でも珍しいゆで落花生を栽培しているのが、田尻地域在住の松本光男さんです。

元々、松本さんは神奈川県に住んでいましたが、以前から田舎暮らしや農業に興味があり、会社を早期退職して、平成25年に田尻地域に移住してきました。鳥が好きな松本さんは、移住地を探し大崎市を訪れた際、偶然にタンチョウ鶴が蕪栗沼に飛来した場面に遭遇したこともあり、環境が良くマガンの飛来地としても有名な田尻地域に移住を決めたそうです。目の前に広がる一面の田園風景や吹き抜

リカパリー 修理・設定・販売・買取

パソコン・スマホの 困った...を解決!

パソコン スマートフォン **トラブル診断無料**

パソコン修理 リカパリー 検索

営業時間 10:30~19:30

古川店 : 古川北町5丁目2-3 ●古川工業高校近く
 鹿島台店: 鹿島台木間塚小谷地259-1 ●イオンタウン鹿島台内

TEL : 0229-91-8655
 TEL : 0229-87-4722

アパマンショップ全国ネットワークで理想のお部屋へナビします

アパマンショップ 古川駅前店

創業 昭和47年 不動産と建設の総合力で地域に貢献いたします。

宅地建物取引業:宮城県知事免許(12)1000号(社)宮城県宅地建物取引業協会会員(社)全国宅地建物取引業保証協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟

http://www.yoitochi.com 〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通2丁目6番16号

株式会社 **古川土地** TEL.0229-23-8484

0120-2-8484-2 (携帯・PHSからも通話可)